

女川町まちづくりデザインのあらまし 初版

—誇りと愛着の持てる暮らしやすい街の実現に向けて—



平成 25 年 12 月 23 日

ごあいさつ

女川町中心部では、平成24年9月の被災市街地復興土地区画整理事業の事業認可を皮切りに、復興事業を推進してきました。

また、まちづくり説明会、まちづくりワーキンググループ、復興まちづくりデザイン会議、有識者ヒアリング等の取組を通じて、町民の皆さんや有識者の意見を復興事業に取り入れてきました。

このたび、復興後の女川町中心部のまちのかたちを素案としてまとめましたので、町民の皆さんにお示しするものです。

本資料の内容は現在検討中のものであり、変更されることがあります

女川町中心部の骨格構造

女川町中心部のバリューアッププランのコンセプト

あちこちから海が見える
住みたい、訪れたい、自慢したい風景の創出
安全・安心・暮らしやすいまちづくり



3つの基本方針

①海の存在を最大限に生かす

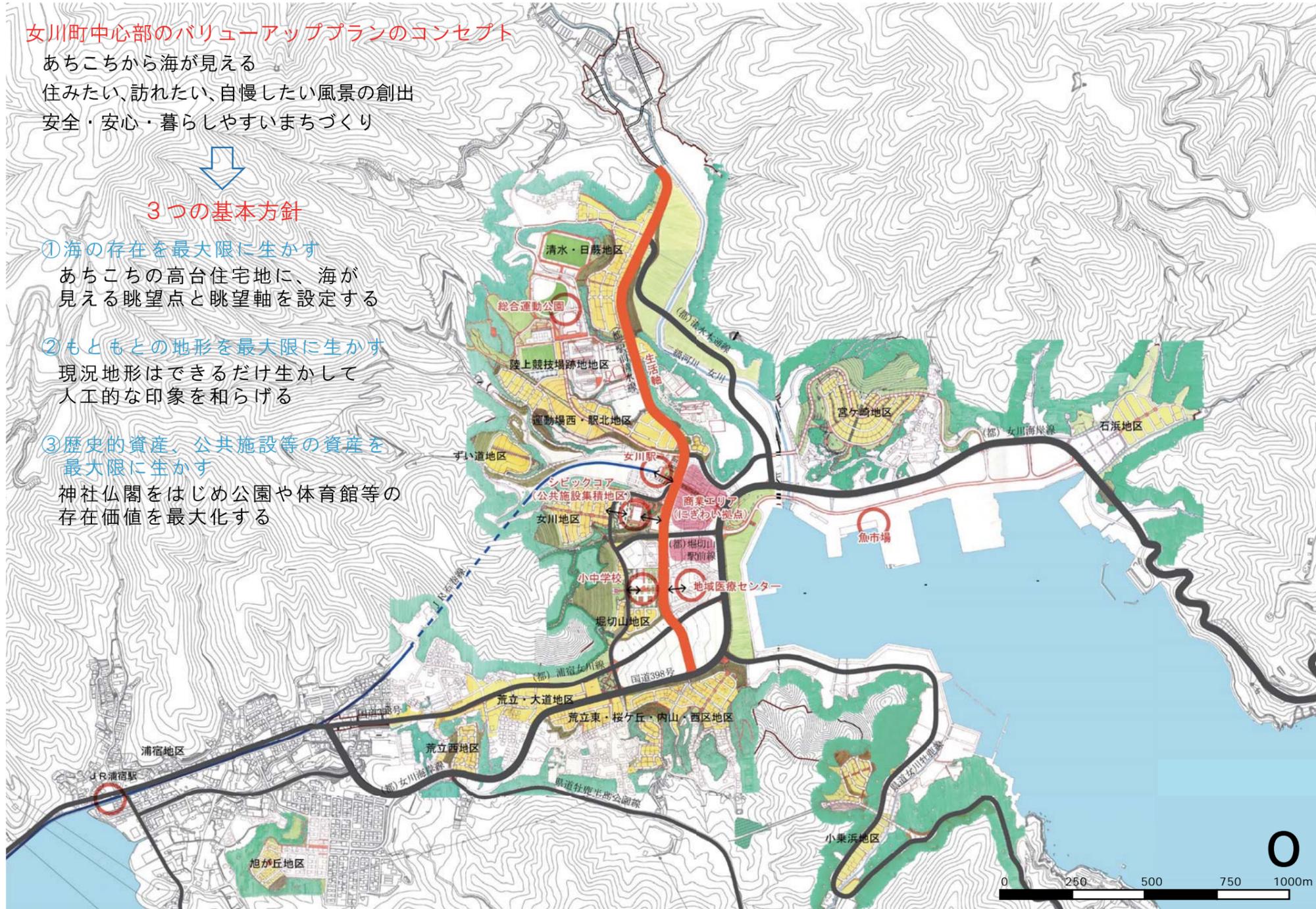
あちこちの高台住宅地に、海が見える眺望点と眺望軸を設定する

②もともとの地形を最大限に生かす

現況地形はできるだけ生かして人工的な印象を和らげる

③歴史的資産、公共施設等の資産を最大限に生かす

神社仏閣をはじめ公園や体育館等の存在価値を最大化する



整備の基本的な考え方

親が仕事でいない時間帯に、
子どもたちが怖い思いをすることがないまち

- 新しい小中学校とこども園は、今回の大津波でも浸水しない高台に建設を予定しています

安心して子どもたちを出かけさせられるまち

- 幅広の歩道や歩行者優先道路を整備します
- 低地部からもよく見える高台の鼻先に避難場所を配置します
- 高台ごとに特色ある公園や広場を整備します

数十年に一度は必ず来る津波に対しても浸水しないまち

- 国道398号背後地を嵩上げて、数十年に一度の津波はもちろん、高潮・豪雨などにも安全な市街地を整備します

複数ルートの高台避難道路・避難通路が整備されたまち

- 多くの人々が集まるエリアから高台につながる道路は車3台分の幅員を確保します
((都) 駅前清水線、(都) 堀切山駅前線、(都) 清水本通線)

まちの真ん中に、生活の軸線を整備

- 町役場、新しい小中学校、地域医療センター、生涯学習センター、保健センター、商業エリア、ゆぽっぽ、JR女川駅、交通ターミナル広場を、(都) 駅前清水線沿いに集約配置しています
- 商業エリアには、官民連携して、生鮮食料品店、金融機関、郵便局、交番等の生活利便施設を誘致します(現在、計画策定中)

計画的な交通ネットワーク

道路・駐車場

- 高台住宅団地内の区画道路は、幅員が6mで車が余裕をもってすれ違えることができます。勾配は基本的に6%以内とし、バリアフリーや冬季の路面凍結に配慮しています。
- 商業エリアや公共施設には必要な駐車場を計画中です。
- 町中心部の交通を担う都市計画道路を整備します。

JR石巻線

- JR東日本が2015年(平成27年)3月の浦宿駅～女川駅間の営業再開に向けて準備を進めています。

バス

- 高台造成に合わせて、町民バスの路線再編を検討中です。ミヤコーバスと運行計画について協議中です。

離島航路

- 観光棧橋の復旧工事が完了後、船着場を再整備します。

河川、上水道、下水道

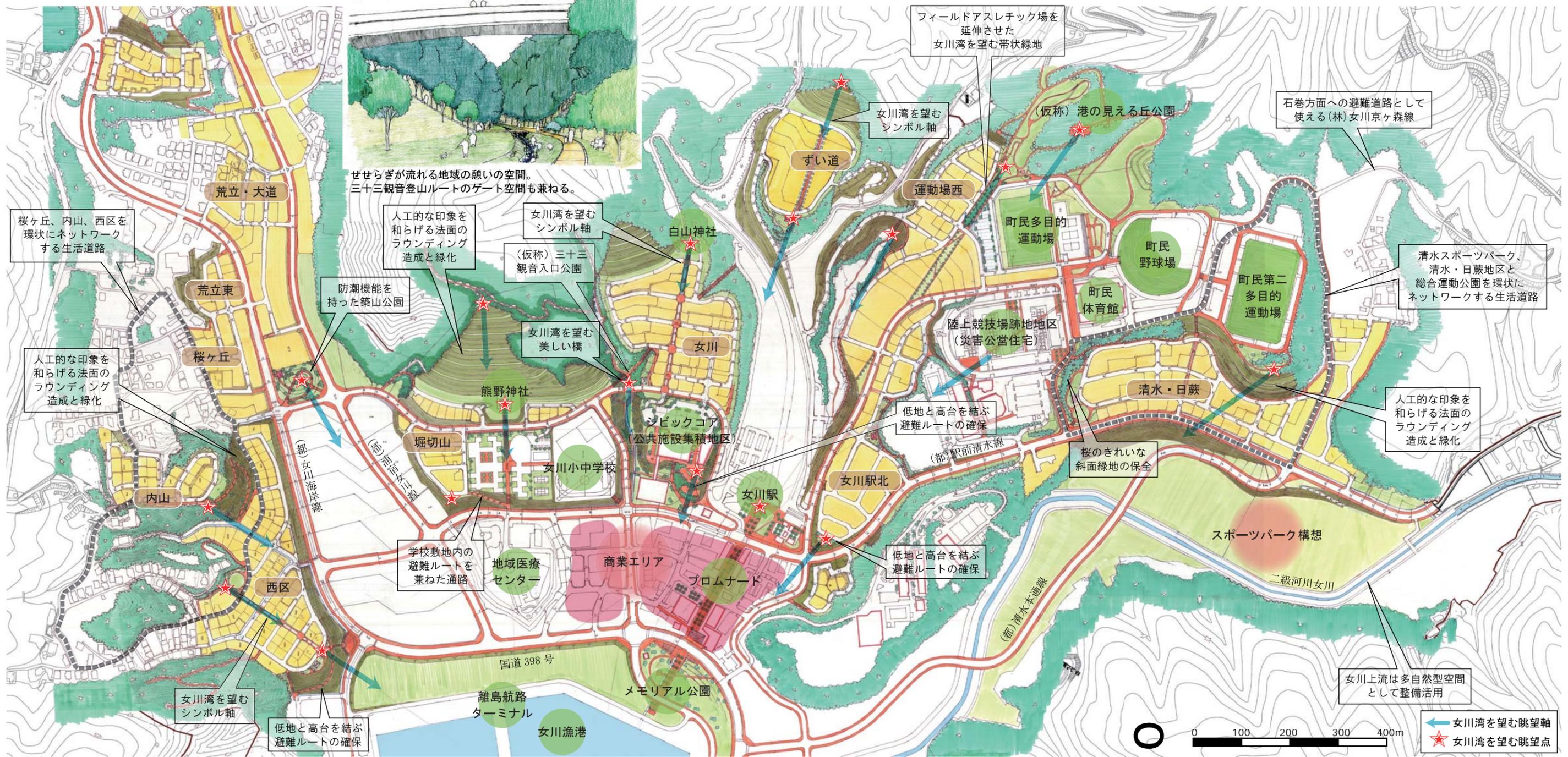
- 二級河川女川、小乗川は、氾濫を防止するため、河川幅を拡げ、堤防を強化します。
- 土地区画整理事業区域内では、汚水と雨水を分離した分流方式の公共下水道を整備します。
- 上水道は、女川上流部と北上川から取水し、女川浄水場と鷲神浜浄水場から各地に配水します。

緑のネットワーク

- 十分な緑と広場を確保することを目指して、樹林地の保全、法面の緑化に努めます。
- 復興した市街地に植えるため、三重県造園業者の皆さんと協力して町内の樹木の種子を育てています。

海に向かって開かれたまち

三十三観音の入口の公園



せせらぎが流れる地域の憩いの空間。三十三観音登山ルートへのゲート空間も兼ねる。

学校敷地内の避難ルートと兼ねた通路

低地と高台を結ぶ避難ルートの確保

人工的な印象を和らげる法面のラウンディング造成と緑化

女川湾を望む美しい橋

防潮機能を持った築山公園

女川湾を望むシンボル軸

（仮称）三十三観音入口公園

女川湾を望むシンボル軸

フィールドアスレチック場を延伸させた女川湾を望む带状緑地

（仮称）港の見える丘公園

石巻方面への避難道路として使える（林）女川京ヶ森線

清水スポーツパーク、清水・日蔵地区と総合運動公園を環状にネットワークする生活道路

人工的な印象を和らげる法面のラウンディング造成と緑化

桜のきれいな斜面緑地の保全

低地と高台を結ぶ避難ルートの確保

スポーツパーク構想

女川上流は多自然型空間として整備活用

二級河川女川

（都）清水本通線

（都）駅前清水線

陸上競技場跡地地区（災害公営住宅）

町民多目的運動場

町民第二多目的運動場

町民体育館

町民野球場

運動場西

白山神社

女川

（仮称）三十三観音入口公園

熊野神社

シビックコア（公共施設集積地区）

女川小中学校

（都）清水本通線

女川駅

女川駅北

プロムナード

商業エリア

地域医療センター

堀切山

（都）清水本通線

（都）女川海岸線

西区

内山

桜ヶ丘

荒立東

荒立・大道

国道398号

離島航路ターミナル

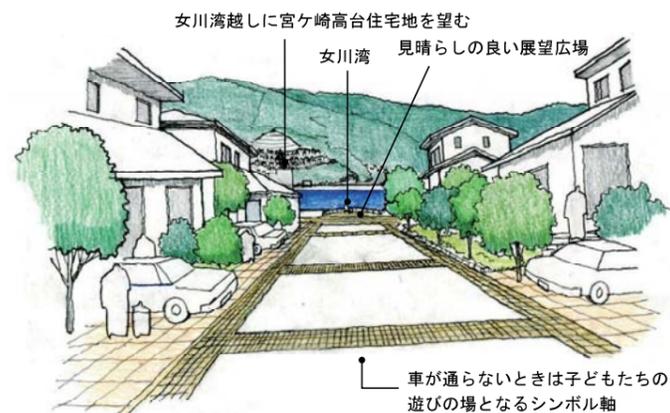
女川漁港

メモリアル公園

（都）清水本通線

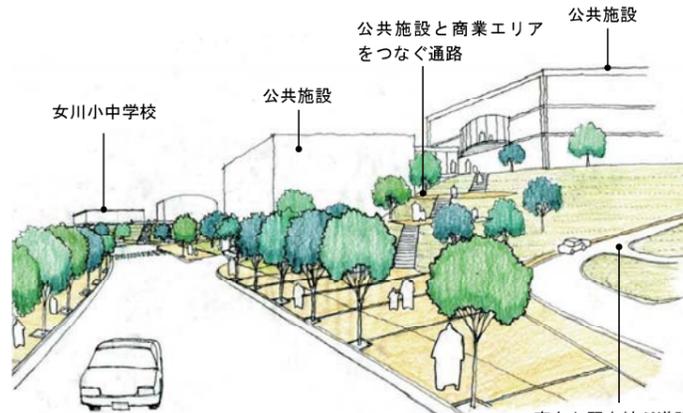
（都）駅前清水線

西区高台住宅まちなみ



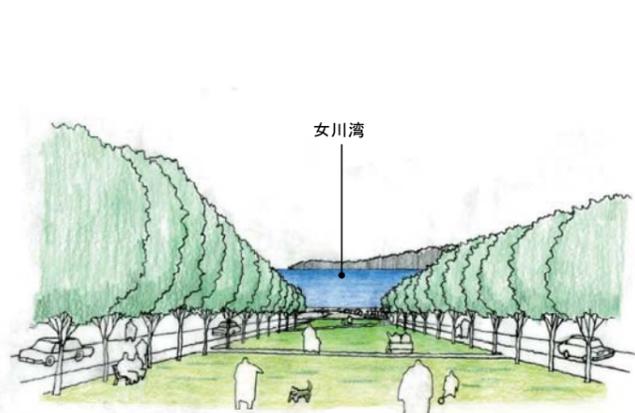
女川湾への眺望が開ける西区住宅地のシンボル軸。

シビックコア（公共施設集積地区）



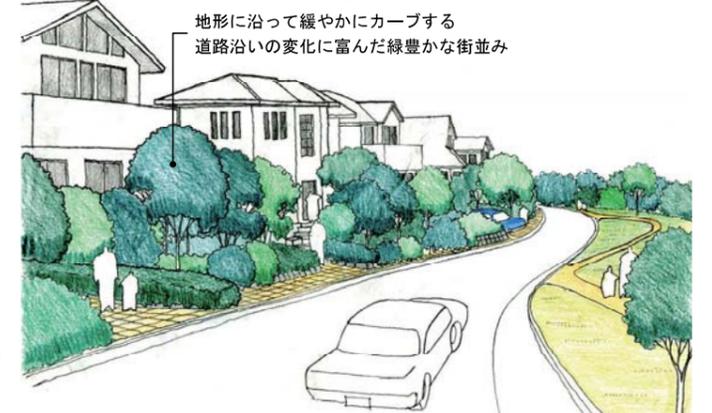
女川駅前から南方向の景観。右手高台に公共施設が集積されたシビックコア、正面に女川小中学校を望む。

運動場西高台の带状緑地

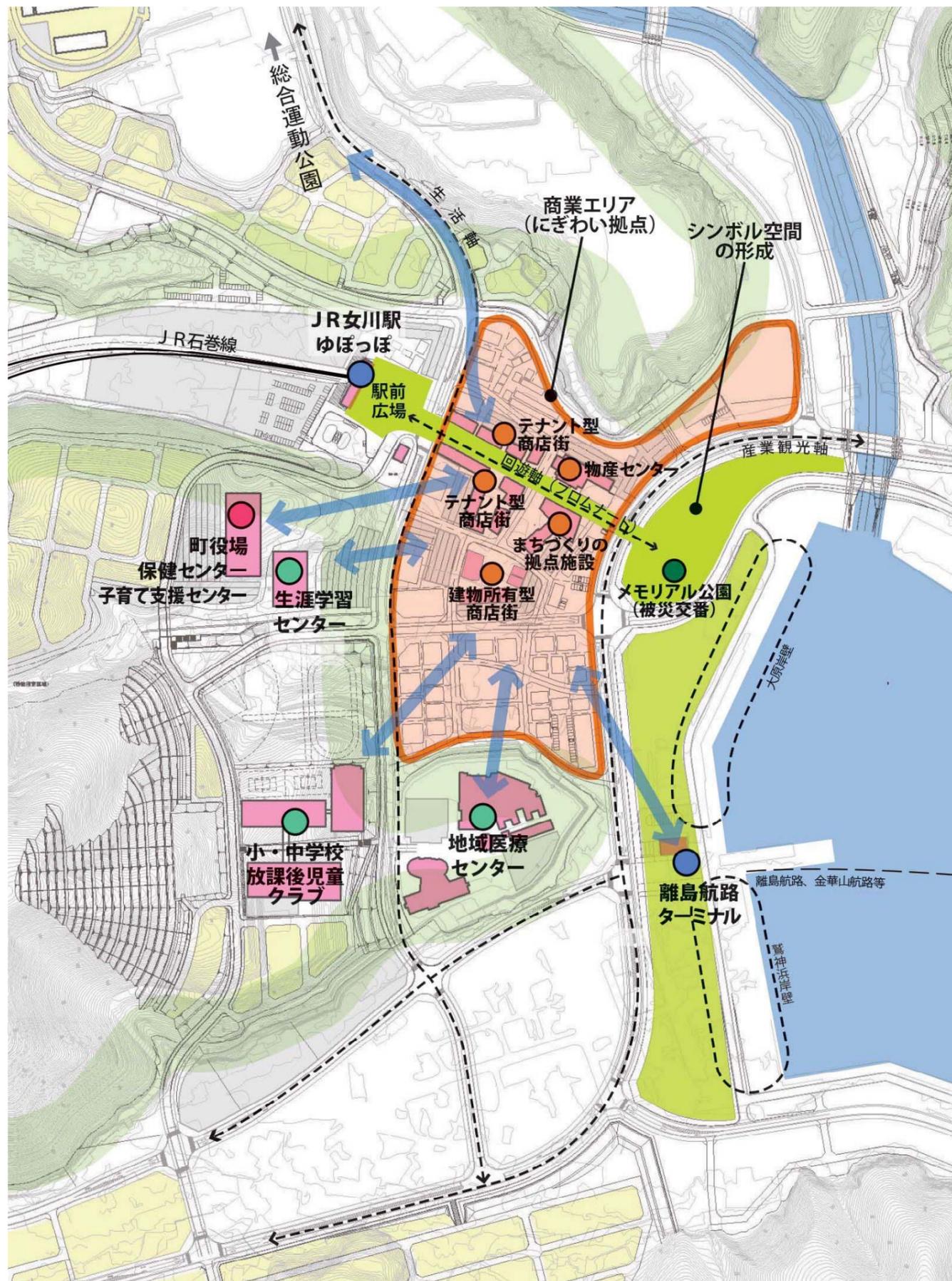


どこからでも女川湾が一望にできる気持ちの良い带状公園。毎日の散歩やイベントなど多様な使い方ができる多目的芝生広場。

高台住宅地の街並み



地形に沿って緩やかな曲線を描く道路と、その沿道の変化に富んだ住宅地の街並み。



「中心市街地」のコンセプト

地域産業の有機的連携により新たなにぎわいと自然環境に調和した、
いやしの空間を創出
町民や観光客が豊かな海や自然を享受しながらまちあるきをたのしみ、
憩えるまちづくり

「中心市街地」のにぎわいづくりの考え方

- まず町民が気軽に訪れ、集い、語り合う
プロムナード中央の広場やまちづくりの拠点施設が、当面の町民のたまり場となります。
- 周辺施設から人が集まり、人が回遊しにぎわいの輪を広げる
周辺の金融機関、商店、公共施設等から人を呼び込み、回遊性させて、にぎわいの輪を広げます。
- 観光客もまちの中心に流入
国道 398 号沿いに物産センターを設け、観光客も集まれる場所とします。
- 町民や観光客が利用し、プロムナード周辺でおいしい食事を楽しむ
プロムナードを介して、日常生活と観光（非日常）の交流が生じます。
- いざというときは安全な高台へ
高台へと通じる道路は、広くわかりやすく配置します。

空間づくりの考え方

- 経年劣化しない空間づくり
地域に根付き受け継がれるものを大切に、本質なサービスが提供できる空間づくりを目指します。
- 港を感じる空間づくり
JR 女川駅～プロムナードには海への眺望を確保し、港町らしい空間を演出し、高台や駅舎には、港が望める場所を確保します。
- 歩行者優先の楽しいまちなみづくり
駅前広場やプロムナードには、車が入らない歩行者優先の空間をつくります。
震災前のまちの道筋など履歴を活かし、プロムナードとのつながりを考えた広場や路地等をつくります。
- 沿道店舗・施設と一体的な利用ができるにぎわい空間づくり
施設の雰囲気が屋外ににじみだし、一体的な空間づくりを行い、大小様々なイベントが開催でき、どのような状況にも対応できる空間を目指します。

女川駅周辺シンボル空間（駅前広場～プロムナード～海側）

駅前広場は、駅舎とともにシンメトリーを基本として、女川の玄関口に相応しい象徴的な空間とします。プロムナードは、駅前広場～海への軸線を通し、四季を彩る並木やベンチを配し、公園のように休んだり散歩したりできる緑豊かな歩行者空間とします。

沿道の飲食・物販等の店舗前は、平常時にはテラス的に利用し、イベント時には、特徴に合わせて、プロムナードや階段広場等の中心エリアの広場、メモリアル公園などが利用できる空間とします。沿道の商業エリアの公共空間も合わせて、一体的に空間を創出します。

■ プロムナードの平面イメージ



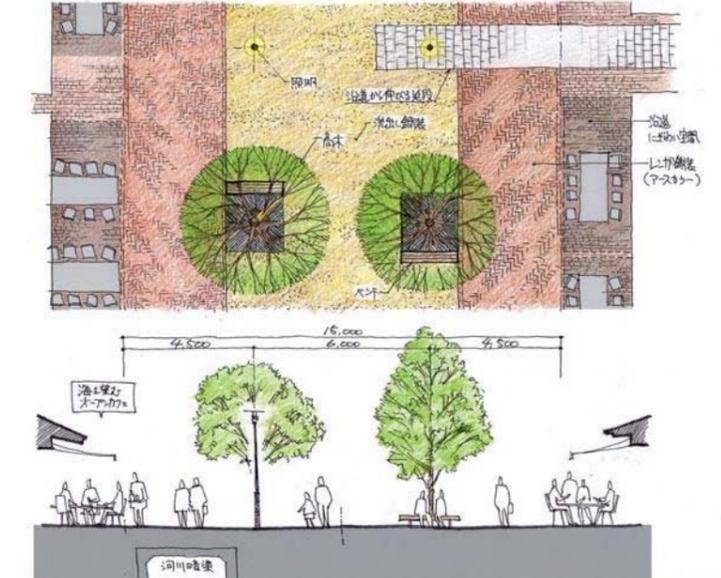
■ 駅前広場のイメージ



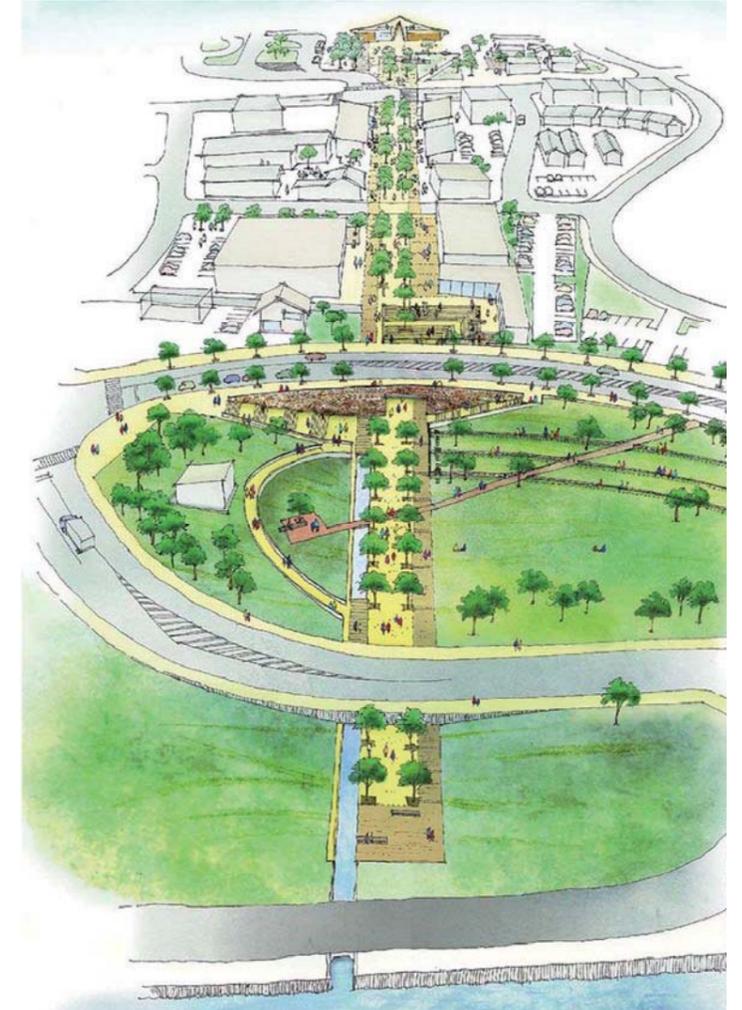
■ 大階段および国道398号周辺のイメージ



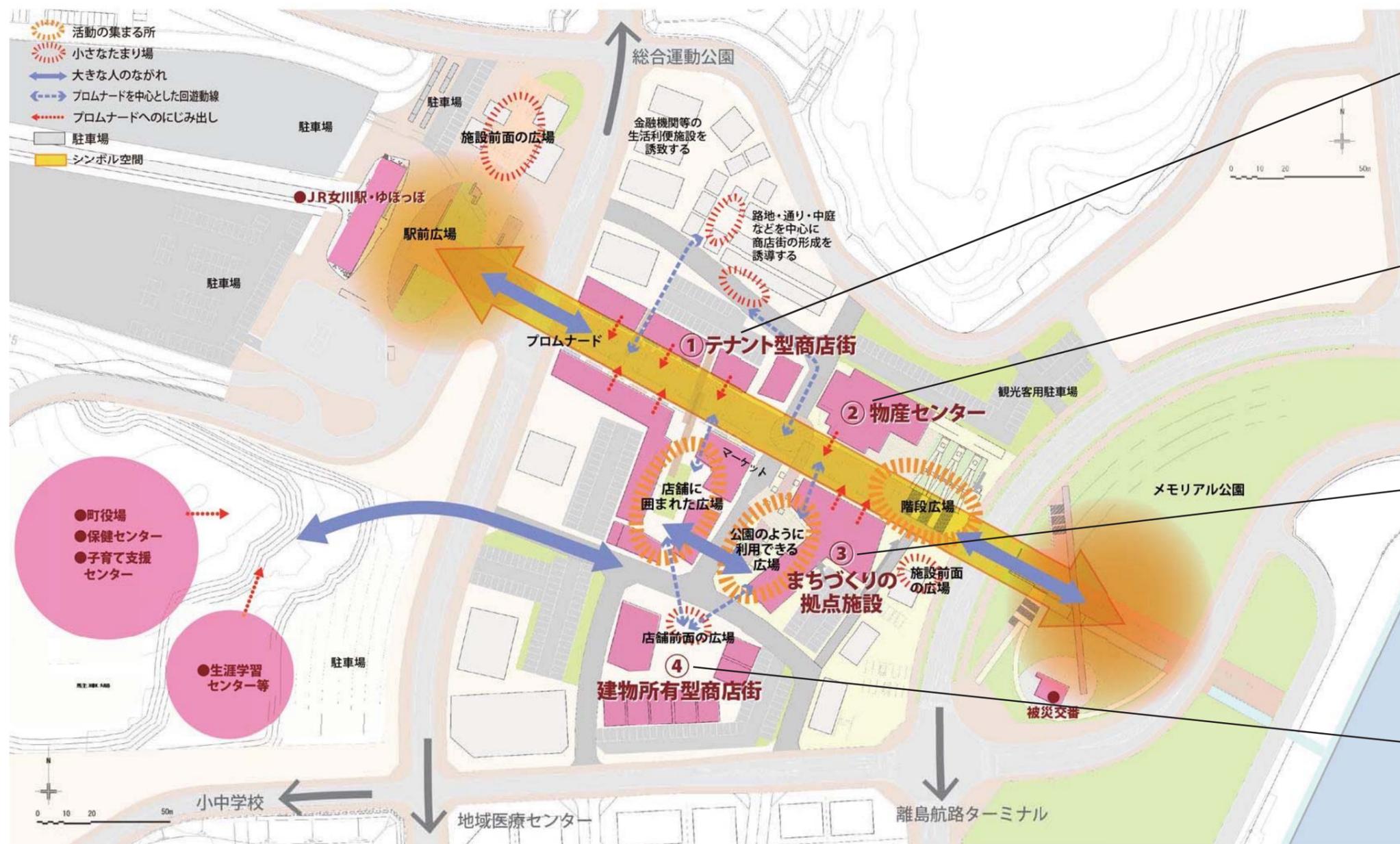
■ プロムナードの基本構成イメージ



■ プロムナードの鳥瞰イメージ（海側から駅舎方向）



商業施設等の事業化方針（案）



① テナント型商店街
 ●開業目標：平成 27 年春～秋頃
 平成 27 年春の JR 女川駅開業にあわせて開業し、順次、店舗を拡大していきます。平成 25 年度中に、テナント入居者の募集・選定を行う予定です。

② 物産センター
 ●開業目標：平成 28 年秋頃～
 水産物の加工・販売・飲食を中心に、他の特産品の提供等も可能なテナント型施設です。

③ まちづくりの拠点施設
 ●開業目標：平成 27 年度
 町内外の多くの人が集まることができる拠点施設です。将来につながる施設機能や運営方法を検討しています。（例えば、図書コーナー、集会・会議スペース、展示スペース、貸スペース（音楽スタジオ、キッチン等）など）

④ 建物所有型商店街
 ●開業目標：平成 27 年秋頃
 各事業者が店舗を所有し、中庭や駐車場等を確保した商店街です。平成 25 年度中に、参加希望者を募集する予定です。

まちづくり会社
 「中心市街地」では、まちづくり会社（※）を立ち上げ、プロムナード周辺の商業施設や公共施設等の整備と管理・運営をし、あわせて、にぎわいを演出するイベント等の取組みを進めていきます。
 ※まちづくり会社…地域密着型の公益性と企業性を併せ持ち、地域密着型のディベロッパーとして、ハード、ソフトの両面から中心市街地のまちづくりを担う、公民連携組織です。

	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
まちづくりの動き	まちづくり会社を立ち上げます	にぎわい拠点内で建築工事がはじめられます	JR 女川駅が開業します にぎわい拠点内での商い等が可能になります	
① テナント型商店街	商業施設の事業計画検討 テナントの募集・選定	設計等 工事	開業	
② 物産センター	商業施設のコンセプト検討 事業手法の検討	参加事業者の募集 商業施設の事業計画検討 設計等	工事	開業
③ まちづくりの拠点施設	事業計画の作成	設計等 工事	開業	
④ 建物所有型商店街	参加事業者の募集 事業手法の検討	商業施設の事業計画検討 設計等 工事	開業	

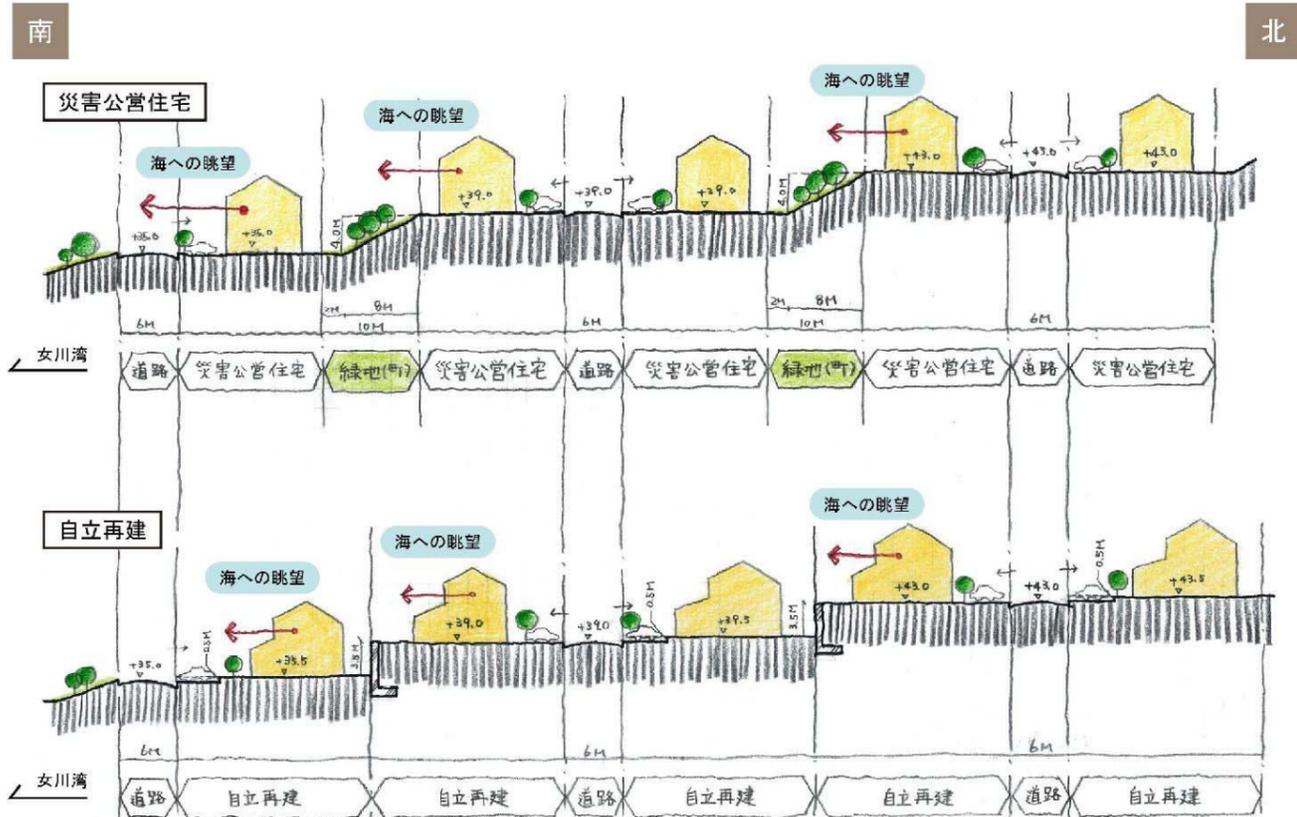
本資料の内容は現在検討中のものであり、変更されることがあります

オーシャンビューが望めるまち

宮ヶ崎



宮ヶ崎住宅地 断面概念図



本資料の内容は現在検討中のものであり、変更されることがあります

女川町復興まちづくりデザイン会議

委員の略歴

ひらの かつや
平野 勝也

東北大学災害科学国際研究所 准教授
土木学会 土木学会論文集委員会 D1 編集小委員会 幹事長
平泉町重要公共施設デザイン会議 委員長
石巻市復興まちづくり推進会議 委員
石巻市復興まちづくり推進会議 半島部WG 座長
岩手県河川・海岸構造物の復旧等における環境・景観検討委員会 委員
宮城県沿岸域河口部・海岸施設復旧検討委員会 委員
宮城県環境影響評価技術審査会 委員



うの けんいち
宇野 健一

(有)アトリエU都市・地域空間計画室 代表取締役
多摩市地区街づくりコンサルタント登録
多摩市街づくり審査会委員
多摩市都市計画審議会特別委員会委員
町田市街づくりアドバイザー
八王子市街づくりアドバイザー
府中市土地利用調整審査会委員
(社)日本建築学会「サステナブルデザイン&コミュニティアーキテチャー-特別研究委員会」委員



おの であ やすし
小野 寺 康

小野寺康都市設計事務所 取締役代表
東京工業大学 非常勤講師
秋田公立美術大学 非常勤講師
青梅市 まちづくり・デザイン専門家
2001年 土木学会デザイン賞 最優秀賞 (門司港レトロ地区環境整備)
2008年 グッドデザイン特別賞 日本商工会議所会頭賞 (油津 堀川運河)
2009年 建築業協会賞: BCS 賞 (日向市駅 駅前広場)
2009年 土木学会デザイン賞 最優秀賞 (津和野 本町・祇園丁通り)
2010年 土木学会デザイン賞 最優秀賞 (油津 堀川運河)

